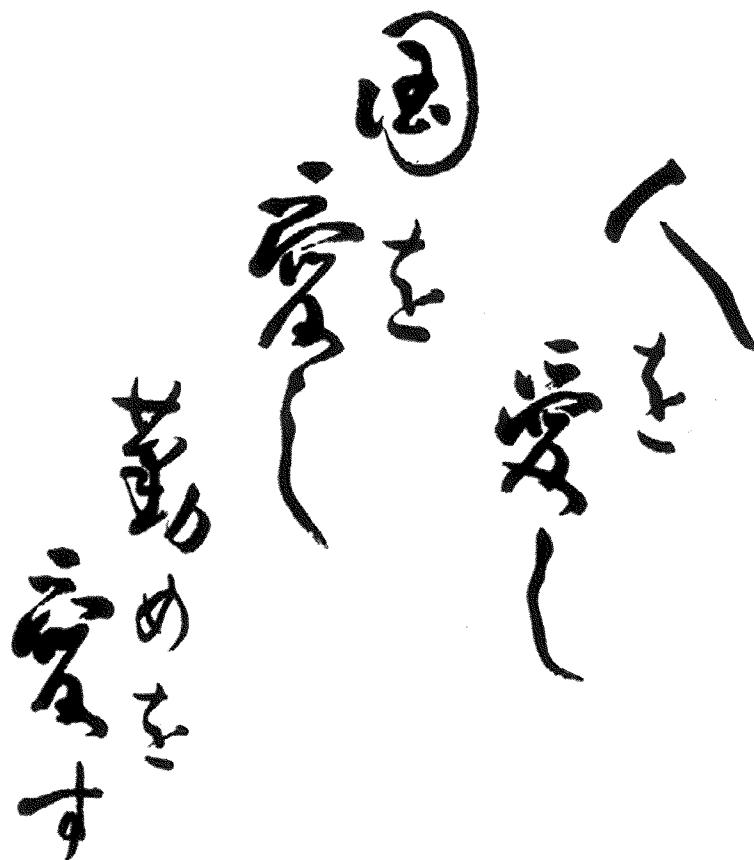


2025 年 6 月 30 日

恵那県事務所 環境課長 殿

環境創出協定に関する活動状況の報告

リコーエレメックス株式会社 恵那事業所



三愛精神

「三愛精神」は、1946 年にリコーの創業者、市村清が提唱したもので、リコーでは創業の精神と位置づけています。

これは、事業・仕事を通じて、自分、家族、顧客、関係者、社会のすべてを豊かにすることを目指した考えで、

リコーグループの全社員が、経営や仕事を行ううえで原点となるものです。

リコーエレメックス株式会社
恵那事業所長 熊谷 正行

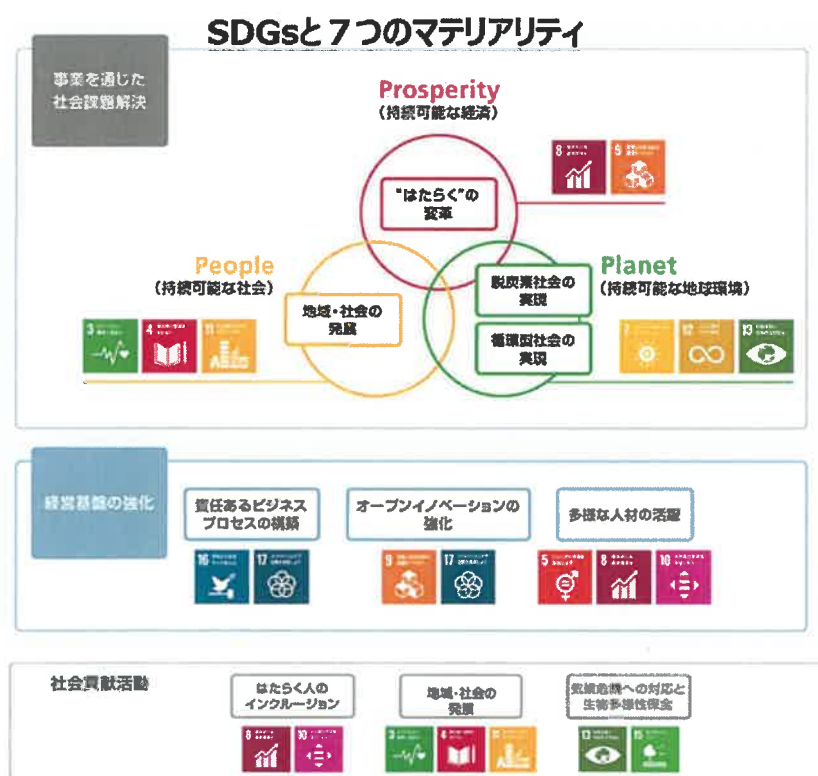
岐阜県と恵那市及び弊社が 2005 年 3 月 17 日に締結した「環境創出協定」に関する、2024 年度の当事業所活動内容について、報告致します。

1. リコーグループのサステナビリティ

リコーグループは、「人を愛し、国を愛し、勤めを愛す」という創業の精神（三愛精神）に基づき、「はたらく」に寄り添い変革を起こしつづけることで、人ならではの創造力の発揮を支え、持続可能な未来の社会をつくる」ことを使命と目指す姿としています。

リコーグループは、目指すべき持続可能な社会の姿を、経済（Prosperity）、社会（People）、地球環境（Planet）の 3 つの P のバランスが保たれている社会「Three Ps Balance」として表しています。

この目指すべき社会の実現に向け、「事業を通じた社会課題解決」「経営基盤の強化」「社会貢献」の 3 つの活動に取り組み、国際社会で合意された「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に貢献していきます。



SDGsへの貢献



2. 社会貢献に関する取り組み

2024 年 5 月から定期的に「事業所周辺の清掃活動」を計 10 回実施しました。

また、恵那総務グループが事務局となっている「リコーえなの森中山道里山協議会」が中心となって、休日に森林保全のボランティア活動を継続して実施しました。さらに地元小中学生、住民等とともに教育研修や学習会を実施しました。2022 年度より恵那市 SDGs 推進協議会に参加し、他の団体と情報を共有しながら共に課題を解決しています。

・社員による恵那事業所周辺清掃（写真は2024年6月、2025年3月）



・2024年度 リコーえなの森活動実績

No.	期 日	イベント	内 容	
1	11月29日	EPOC様視察 42名 EPOC:環境パートナー シップCLUB	中部地区の約250社が加盟する環境負荷低減を進める活動団体の視察。実施後のアンケートでは地域との協働運営に称賛の声が多かった。	
2	11月22日 (放送日)	FM GIFUでの森の活動を放送	朝の帯番組モーニングスプラッシュの“てくてくぎふ歩き”のコーナーで放送された。	
3	3月31日	恵那高等学校英会話部 森の視察	高校生の海外交流プロジェクト“アートマイル国際協働学習”において、えなの森の活動が題材になった作品で、同校が文部科学大臣賞を受賞した。	

生態系保全と森づくり	次世代育成と生涯学習	地域コミュニティと健康づくり	その他の来訪者
保全作業 13回 275名 草刈作業 7回 40名 社員保全作業 2回 32名  雪の中での保全作業 2025年2月8日 347名	やまっこさんぽ 7回 136名 東野こども園 1回 32名 大井小学校 1回 62名 長島小学校 1回 68名 恵那農業高校 12回 48名 恵那高校英会話部 1回18名 恵那市教育委員会 1回17名 ライトトラップ昆虫観察会 1回 31名 トンボ教室 1回 13名 自然案内人協議会研修会 1回 21名 岐阜県シェアリングネイチャー協会 リーダー研修 1回 25名 471名	さんぽ会 9回 90名 森林浴 2回 25名 森のクリスマス会 1回 16名 ヨガ教室 2回 13名 東海シニア自然大学 1回5名 FM GIFU 1回 2人  森のクリスマス会でのツリー 2024年12月7日 151名	名和昆虫博物館 2回 3名 中部大学 2回 3名 恵那農業高校 1回 3名 恵那北中学校 1回 1名 恵那市教育委員会 1回 1名 恵那山みどりの会 1回 1名 シェアリングネイチャー協会 2回6名 東急建設様・RJ 1回 8名 EPOC事務局 1回 6名 EPOC 1回 41名 恵那市会議員 1回 2名 東野こども園 1回 3名 一般住民 1回 5名 リコーグループ 5回 17名 100名
合計 1069名 （2023年度:1170名 2022年度:1264名 2021年度:749名 2020年度:488名）			

・えなの森 生態系保全と森づくり

エリア	No.	作 業	実施事項	コメント
湿地域	1	湧水地帯整備	湿地水源域の間伐 倒木のチップ化 遊歩道の新設。	 “川の水源が見られる場所” として、来所されるお客様に 案内できている。
	2	流域の土砂崩落個所の砂防工事	ジャカゴを3基設置 して土砂崩落防止の 工事を行った。	 土砂の湿地への流入を防ぐ 効果があるが、同時に水の 流路を制御し、石の上に滴 る様にしたことで、趣のある 景観となった。
	3	下段湿地の木道補修 と水漏れ補修	朽ちた木道の入替え と中央付近で漏水が あった箇所の補修。	 橋脚部分にコナラ・サクラを 使い腐食対策を行った。
	4	上段湿地の浚渫	土が堆積しやすい 河口部の浚渫と土手 への盛り土。	 この日は、東急建設様から 保全作業の体験視察があつた。
エリア	No.	作 業	実施事項	コメント
森全体	5	既存遊歩道整備	2ルートの整備 ・北口～学習エリアル ート ・北口～展望台ルート	 2ルートが整備されたので、 散策のバリエーションが増 えた。
	6	遊歩道の新設	瞑想の森～水源ル ートの新設	 砂防工事の施工状態や川 の水源を見ながら歩ける遊 歩道として活用度が高くな る。
	7	道標の設置	遊歩道に道標の 設置	 森内のポイントや建物まで の方角と距離を案内してい る。
	8	森の新たな活用ポ イント“瞑想の森”の新 設	間伐や整地、腰掛や ステージの設置等を行 い整備した。	 森林浴体験の中で、セラピ ストより“安息の場所”と して提案があり、整備した。 他にも森ヨガやさんぽ会 での散策等で活用ができる。
エリア	No.	作 業	実施事項	コメント
森全体	9	ツリーハウスの屋根 改修工事	銅板の屋根に改修	 今後、階段の改修と景観の 妨げとなっているソヨゴの 除去を進める。
	10	植樹	クヌギや花木を植樹	 ドングリの採れるクヌギ、そ の場で食べられる果実、白 い花が咲く花木を植樹した。
イベント 広場周辺	11	薪づくり	恵那市のSDGs推進 協議会の方針(地域 での資源循環)に連 動した薪づくり。	 スイス積みという乾燥手段 がオブジェにもなるため、 屋根を作って東口に設置し た。
	12	暗渠廃水	作業エリアが湧き水 の為にぬかるんでい たが暗渠廃水の効果 で改善された。	 森内に数ヶ所同様な場所 があるため、今後、水平展 開を行う。

・えなの森 地域コミュニティとの育成、学習、健康づくり

No.	期 日	イベント	内 容		合計人数
1	4月13日	トンボ教室 ※7月27日・9月28日が 山本先生ケガの為中止	トンボ教室にお孫さんと参加された中部大学の松本先生から、持ち帰ったヤゴがお孫さんの目の前で羽化し、大変な感動があったとのメールが届いた。		13名
2	4月20日 5月18日 6月22日 7月20日 8月17日 9月28日 1月26日 2月22日 3月15日	さんぽ会	9月までは吉安さんの講師で実施したが、1月より講師不在で再会した。		90名
3	6月2日 7月14日 8月17日 9月28日 10月13日 11月3日 2月15日	やまっこさんぽ 森のクリスマス会 森の冬カフェ	9月は恵那農業高校の生徒さんもお手伝いで参加。		152名
No.	期 日	イベント	内 容		合計人数
4	4月20日 11月16日	森林浴体験	参加者個別の(心の)診断も出される本格的な心理療法。 講師からのアドバイスで、森の中に“瞑想の森”という新たな活用スポットを作った。		25名
5	7月28日	ライトトラップ 昆虫観察会	森の中で光を放ち、周辺の木々もライトアップされる光景が、普段見慣れた森でも違う世界と感じさせられた。 子どもたちは集って来る昆虫に歓声をあげ、講師よりクワガタのプレゼントがあった。		31名
6	8月2日	新任教諭研修	先生方の感想の一部 驚きでした。私が働いている長島小学校は、1年生の3分ドクソミとを拾いに、リコノ森へ行っていただいていたのですが、去年1年生でやった時のクソミの子どもたちに話を聞いて、「とても楽しい」とも、とてもうれしく感じました。今回、お話を聞いて、見せていただけたことに、地域の人のためにとは工夫されていると感じました。お忙しい中貴重な機会を設けていただき、ありがとうございます。		16名

3. 省資源・省エネルギーの取り組み

① CO₂削減の取り組み

昨年度の実績は、CO₂排出量換算 2,906 t で、2023 年度より 148 t 減少しました。
事業所内照明の LED 化工事を進めたことにより、CO₂排出量減となりました。
今年度も引き続き事業所全体で CO₂削減の計画、活動を継続し、CO₂削減活動を加速させます。

	(t)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2022年度	178	157	206	234	206	222	188	197	259	265	239	205	2,556
2023年度	211	192	234	280	276	275	219	226	286	299	270	286	3,054
2024年度	206	199	225	281	276	257	225	211	258	269	263	236	2,906

② 用水使用量削減の取り組み

昨年度の実績は 7,326 m³ で、2023 年度より 470 m³ 増加しました。
派遣社員の増加により用水の使用量が増加したものと推察されます。

	(㎡)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2022年度	587	469	591	564	467	579	559	540	579	465	518	544	6,462
2023年度	618	602	583	596	515	586	586	542	514	529	574	611	6,856
2024年度	582	605	720	790	525	576	564	645	624	560	551	584	7,326

③ 廃棄物排出量削減の取り組み

昨年度の実績は、245,403 kg で、2023 年度より 26,066 kg 増加しました。
生産活動にて排出される廃棄物の削減活動を実施していますが、2024 年度は試作機体、生産終了製品に関わる設備や部品の廃棄が多量に排出されたために廃棄物が増加しております。
現在、有価物の比率を高めるため、廃棄物の分別による廃棄量の削減、廃棄物の処理方法変更による再生利用率向上の活動を進めており廃棄物削減に努めていきます。

	(Kg)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2022年度	8,041	5,545	15,569	15,828	10,983	12,168	13,188	9,143	12,724	9,875	9,327	10,759	133,150
2023年度	16,179	10,877	16,046	16,410	11,509	20,528	18,292	10,905	30,473	14,349	21,693	32,077	219,338
2024年度	26,094	37,358	12,050	23,891	17,261	9,994	21,140	16,306	18,598	9,712	15,666	37,333	245,403

4. 土壌・地下水汚染への取り組み

土壌・地下水については、2000 年より地下水の揚水処理を含む浄化および拡散防止対策を継続的に実施しております。これらの対策の一環として、敷地内に設置した観測井戸において年 4 回の定期的な地下水の水質測定を行っており、今後も継続いたします。

また、2023 年に実施した自主調査においてヒ素が検出されましたが、当該物質は当社の事業活動において使用履歴がなく、検出地点も自然地盤とは接していないことから、拡散の可能性は極めて低いと判断しております。さらに、年 4 回実施している地下水モニタリングにより、当該物質の拡散が生じていないことを継続的に確認しております。

5. 維持管理目標に関する測定の関係

環境創出協定に基づく維持管理項目は、全て法規制値以内を守っています。

（別紙 1）めっき排水 下水道への放流水測定結果 （月 1 回の測定）

（別紙 2）めっき排水（下水道）、雨水・地下水浄化処理水（河川）（年 1 回測定）

（別紙 3）騒音・振動測定 （年 2 回測定）

6. 2025 年度の取り組み計画

今年度も引き続き CO₂削減と生物多様性保全活動を重点に進めることとし、その他の水質汚濁／騒音・振動／廃棄物削減対策については、現状の取り組みを維持継続していきます。

1. CO₂削減活動計画

- ・ 電気使用量の削減
 - ① 省エネ対応の設備（照明、空調等）への置き換え
 - ② 生産性向上及び効率的な生産計画による照明、空調の電力使用量の抑制
- ・ 緑化の推進 「えなの森」を含む生態系保全活動

2. 生物多様性保全活動

- ・ 2011 年度から恵那事業所保有の森林保全活動を開始。
- ・ 2014 年リコーえなの森中山道里山協議会を立ち上げました。
この協議会は森林保全活動を地域の住民の方々、地域 NP0、リコーグループ関連会社、その他企業のボランティアの方々の力を借りて、森林保全とその活用によりコミュニティの発展を目指して、計画的に（原則 1 回/月）行っています。
- ・ 事業所工場見学や社内行事等にて生態系保全活動の PR 及び必要性の啓蒙活動を継続的に実施していきます。

以上

(別紙 1) めっき排水 下水道への放流水測定結果 (月 1 回の測定)

2024年度恵那事業所水質分析

期間: 2024 年 4 月 ~ 2025 年 3 月

採取場所: 表面処理排水処理装置排水口

測定機関: 富士清空工業所

単位: mg/l
上段: 月
下段: 測定日

化学物質名	法定規制値	管理値 (自主規制値)	4月 8日	5月 8日	6月 6日	7月 16日	8月 1日	9月 3日
水素イオン濃度(PH)	5.0以上9.0未満	6.0~8.0	7.9	7.2	7.3	7.4	7.6	7.8
生物化学的酸素要求量(BOD)	600mg未満(5日間放置)	200mg	1.0	0.9	0.6	0.9	1.9	0.6
浮遊物質量(SS)	600mg未満	200mg	1未満	1.0	1未満	1未満	1未満	1未満
ノルマルヘキサン(鉱物油含有量)	5mg以下	2.5mg	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満
銅含有量	3mg以下	1.5mg	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満
亜鉛含有量	2mg以下	1.5mg	0.1未満	0.1	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満
クロム含有量	2mg以下	1mg	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
シアン化合物	1mg以下	0.3mg	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満
鉛及びその化合物	0.1mg以下	0.03mg	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.004
アンモニア・アンモニウム化合物・亜硝酸化合物及び硝酸化合物	380mg/l	100mg	2.4	0.1	0.1	0.2	0.3	0.3
沃素消費量	220mg/l	70mg	2.2	1.9	3.1	3.1	4.4	3.8
窒素含有量	240mg以下	80mg	0.2	0.3	0.3	0.3	0.5	0.4
炭含有量	32mg未満	10mg	0.01	0.03	0.01	0.01	0.01	0.02

化学物質名	法定規制値	管理値 (自主規制値)	10月 3日	11月 3日	12月 3日	1月 8日	2月 5日	3月 10日
水素イオン濃度(PH)	5.0以上9.0未満	6.0~8.0	7.6	7.5	7.6	7.5	7.9	7.8
生物化学的酸素要求量(BOD)	600mg未満(5日間放置)	200mg	0.7	0.5	1.1	0.9	1.4	0.8
浮遊物質量(SS)	600mg未満	200mg	1未満	1未満	1.0	1未満	1.0	1.0
ノルマルヘキサン(鉱物油含有量)	5mg以下	2.5mg	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満
銅含有量	3mg以下	1.5mg	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満
亜鉛含有量	2mg以下	1.5mg	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満
クロム含有量	2mg以下	1mg	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満
シアン化合物	1mg以下	0.3mg	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満
鉛及びその化合物	0.1mg以下	0.03mg	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満
アンモニア・アンモニウム化合物・亜硝酸化合物及び硝酸化合物	380mg/l	100mg	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1未満
沃素消費量	220mg/l	70mg	10.0	2.2	0.6	1.2	1.9	1.9
窒素含有量	240mg以下	80mg	0.4	1.5	0.4	0.3	0.3	0.3
炭含有量	32mg未満	10mg	0.01	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01

(別紙 2) めっき排水（下水道）、雨水・地下水浄化処理水（河川）（年 1 回測定）

恵那事業所 めっき排水、田邊川排水口の水質分析

恵那総務グループ

採取場所：表面処理(めっき)排水処理装置排水口、田邊川排水口
測定機関：(株)総合保健センター

◆のめっき排水 流量計後(28項目)

単位:mg/l	年度	2024	評価結果
	測定日	2025/3/21	
計量対象	一般排水基準	測定結果	○
n-ヘキサン抽出物質（鉱物油類）	5mg/L	0.5未満	
n-ヘキサン抽出物質（動植物油脂類）	30mg/L	0.5未満	
フェノール類含有量	5mg/L	0.1未満	
溶解性鉄含有量	10mg/L	0.04	
溶解性マンガン含有量	10mg/L	0.02未満	
カドミウム及びその化合物	0.03mg Cd/L	0.003未満	
有機リン化合物	1mg/L	0.1未満	
ヒ素及びその化合物	0.1mg As/L	0.01未満	
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	0.005mg Hg/L	0.0005未満	
アルキル水銀化合物	不検出	不検出	
ポリ塩化ビフェニル（PCB）	0.003mg/L	0.0005未満	
トリクロロエチレン	0.1mg/L	0.01未満	
テトラクロロエチレン	0.1mg/L	0.01未満	
ジクロロメタン	0.2mg/L	0.02未満	
四塩化炭素	0.02mg/L	0.002未満	
1,2-ジクロロエタン	0.04mg/L	0.004未満	
1,1-ジクロロエチレン	1mg/L	0.02未満	
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4mg/L	0.04未満	
1,1,1-トリクロロエタン	3mg/L	0.3未満	
1,1,2-トリクロロエタン	0.06mg/L	0.006未満	
1,3-ジクロロプロペン	0.02mg/L	0.002未満	
チウラム	0.06mg/L	0.006未満	
シマジン	0.03mg/L	0.003未満	
チオベンカルブ	0.2mg/L	0.02未満	
ベンゼン	0.1mg/L	0.01未満	
セレン及びその化合物	0.1mg Se/L	0.01未満	
ぼう素及びその化合物	10 mg B/L	0.1未満	
ふっ素及びその化合物	8 mg F/L	0.1未満	

◆田邊川排水口(7項目)

単位:mg/l	年度	2024	評価結果
	測定日	2025/3/21	
計量対象	一般排水基準（許容限度）	測定結果	○
水素イオン濃度（pH）	pH 5.8以上～8.6以下	7.3(17℃)	
生物化学的酸素要求量（BOD）	160mg/L （日間平均 120mg/L）	0.5未満	
化学的酸素要求量（COD）	160mg/L （日間平均 120mg/L）	1.1	
浮遊物質（SS）	200mg/L （日間平均 150mg/L）	1未満	
n-ヘキサン抽出物質（鉱物油類）	5mg/L	0.5未満	
n-ヘキサン抽出物質（動植物油脂類）	30mg/L	0.5未満	
大腸菌群数	（日間平均 3000個/㎖）	0個/㎖	

(別紙 3) 騒音・振動測定 (年 2 回測定)

恵那事業所 騒音・振動測定

計測場所：(別紙4) 騒音・振動測定地図参照
測定機関：㈱総合保険センター

◆測定日：2024年9月13日

時間の区分	測定点 (別紙参照)	騒音 (dB)				振動 (dB)			
		規制基準	管理項目	測定結果	評価結果	規制基準	管理項目	測定結果	評価結果
昼間 (8時～19時)	No1	65	59	40	○	65	40	30未満	○
	No2			40				30未満	
朝・夕方 (6時～8時) (19時～22時)	No1	60	57	43以下	○	60	40	30未満	○
	No2			39以下				30未満	
夜間 (22時～6時)	No1	50	48	46以下	○	50	40	30未満	○
	No2			42以下				30未満	

◆測定日：2025年3月19日

時間の区分	測定点 (別紙参照)	騒音 (dB)				振動 (dB)			
		規制基準	管理項目	測定結果	評価結果	規制基準	管理項目	測定結果	評価結果
昼間 (8時～19時)	No1	65	59	39以下	○	65	40	30未満	○
	No2			41				30未満	
朝・夕方 (6時～8時) (19時～22時)	No1	60	57	33	○	60	40	30未満	○
	No2			34				30未満	
夜間 (22時～6時)	No1	50	48	30未満	○	50	40	30未満	○
	No2			33				30未満	

(別紙4) 騒音・振動測定地図

